



こうのとりのプラン

埼玉で一番元気でしあわせな街にし、
出生率No.1の鴻巣市を実現

女性だからこそできる、市民目線で市民の要望に応えるきめ細かな政策

市行財政改革と情報公開

～開かれた公平公正な行政

◎ムダの排除と経費節減、まずは市長の姿勢から

市長報酬・退職金を50%カット。

～少しでも財政の無駄を省き、
市民の皆様の声を活かした市政を
行います～



◎市財政を**情報公開**し事業の見直し。

事業仕分けをして徹底した効率化、検証、成長戦略の策定。
第三者委員会にて検討、モニタリング制度を確立。



医療特区を申請して
「**命と健康を守る
地域医療支援ネットワーク**」
のモデル地域に

◎**合併格差**をなくすために**川里地域**には
移動市民課(車で巡回)を創設。
吹上地域には**支所機能の充実**。



川里地域には巡回車を。農業の将来を見据えた振興策を行います。
吹上地域では現在進展している総合的教育施設の場所の選定の再
検討。

◎入札の**透明化、見える化**の推進。

不透明な入札ではなく、地元業者にも仕事がとれるように入札の方法を
変えます。地元の業者を育てながら経済の活性化を推進していきます。



◎業務改革を行い、**市長特命チーム**を創設。
～すぐやる課～

課の壁を乗り越えて緊急的な問題が生じた場合には市長特命チームを
創設し、問題にあたります。たとえば、いじめや不登校の問題、地域活
性化の問題、こみ問題、DV問題など。



医療・福祉政策

～命と健康を守るネットワークの確立

◎**地域医療支援ネットワークの確立、整備。**

各種団体と協力して診療所相互をITで結び
中核病院の建設を促進。

患者データを電子カルテで共有し、有機的に中核
病院と診療所を結びつけます。
将来的には24時間対応の救急医療施設にできる
よう推進します。「病児の保育施設」も併設します。



◎**介護保険の割戻し!**

市独自のシステムとして介護保険料を支払って頂いた後、1年間使わな
ければ翌年に一部掛け金が戻るシステムを**市の単独事業**で行います。



◎**医療・介護・福祉の地域連携。**

・医療機関、特養、老健、グループホーム、
訪問看護ステーションなど

諸機関の地域連携を強め、安心して医療や介護を受けられるよう、
人数の制限の見直し、家庭での状況把握、急な状態変化など連絡
を密にし、柔軟に対応します。

・寝たきりにならないために専門家の
健康増進・介護予防の実施。

移動支所号を利用して各地域に専門家を派遣させて
相談業務を活性化していきます。

・独居の高齢者への手厚い多面的支援対策。

高齢者向けの「なんでも相談」の開設。生活面での困り
ごとの相談にのります。家庭内での困りごとへの手助け、
お買いもの支援等きめ細かいサービスの充実を図ります。



きょうこ
おだ京子
マニフェスト

産業振興政策

～優しいにぎわいの街づくり

◎企業誘致 市長自ら **トップセールスの実践** 固定資産税・法人税の一部を優遇～若者の雇用促進

多くの民間企業を誘致するために一部優遇税制を行い、誘致を促進します。過去にも企業誘致を成功させた経験を活かし、鴻巣の街の経済の活性化を図ります。



◎地場産業の育成

まずはアンテナショップ(実験施設)を創設し、好評だったら**地場産業センター**を作ります。



地産地商(あきない)で地元業者さんをはじめ、農家の方が旬のお野菜やお米を売る場(産直センター)としての地場産業センターの建設を市保有の場所を一部改造してお金をかけないで行います。



◎鴻巣花ブランドの実現

花き生産農家と協力し鴻巣発花のブランド化を実現します。品種改良、研究などにも補助を出して、鴻巣市独自のブランド化のために市保有の土地を利用して研究所を設立します。特許を取り、そのロイヤリティで花き生産農家が潤うようになります。また販売先も全国はもとより海外(とりわけ中国への輸出)も視野に入れた生産拠点にまで発展させます。



◎商店街、中仙道に にぎわいを

商店街に
**「応援ショップ制度」の導入、
ネットで通販「鴻巣市場」を開設**

人の流れやにぎわいを取り戻すためにも「**応援ショップ制度(ポイント制度)**」を導入します。加盟店を利用するたびにポイントがつき、ポイントが溜まると金券同様に使える制度です。インターネットでは「**鴻巣市場**」を開き、鴻巣市商店街が1つのお店のよう**にネットやモバイル通販ができるシステムを構築**します。「**鴻巣市場**」でしか買えないものをブランド化して鴻巣の街の活性化を図ります。



◎住みやすい街づくり

「エコ宣言都市」

ゴミのない街づくり
ごみ収集は「**夜間**」に行います!

今の契約は**随意契約**ですからもっと**透明性の高い入札**に変えます。夜間収集の大きなメリットは夜間に収集することにより深夜も街を行きかう**車があることによる「防犯」の役割**を果たすことです。



◎市バスフラワー号の 抜本的な改正

もっと使いやすく便利な路線の実現を図ります。高齢者や障がいをもっている方のために**デマンドバス(登録制で安価で、通院や買い物等のために家まで送迎するバス)の導入**も検討します。



育児・教育政策

～安心、安全な街づくり

◎子宮頸がん予防ワクチン接種代を全額負担。

毎年中学1年生の女子に接種するようにします。
(6カ月の内に3回接種分全額負担。)



◎不妊治療費(コウノトリ交付金)

9万円(年)⇒**15万円**に増額。

1人でも多くの子ども達が鴻巣の地で生を受けるために、希望する方を応援します。



◎合併5年で統合するという 約束事である小学校の給食は **自校式に!**

地産地商(あきない)で地元業者にご協力を頂きながら活性化。

十分な数の栄養士の配置を行い、リクエスト食や食物アレルギー対応のためのとりわけ食や代替食など各学校の状況や特徴に合わせて行います。



◎DV対策

～専門家による
市民相談

早くから専門家を入れて相談に乗ることによって予防し、プライバシーに配慮しながら「**ストープ、DV**」の対策を打ち出していきます。



◎保育サービスの 充実

保育ママ、病児保育、延長保育、休日保育など各保育所の実態を把握しながら困っていることを早急に改善します。**保育ステーションの開設**など国の政策とも連動し、保育の充実、増設など子育て環境の整備を図っていきます。



◎心の教育～豊かな人間性教育。

**いじめ、不登校への積極的な
関わりと持続的な取り組み**

中学生の障がい児の学童保育室も作ります。



◎人形作りの町の歴史を後世に

核家族の現代だからこそ日本の伝統の持つ「**節句**」の意味を小学校の場で大いに学び、考えてもらうことこそ大切だと考えます。視聴覚教室などを使って地元の歴史を見、考え、体験できるよう職人さんにも学校訪問を行ってもらい、後継者の育成にも役立つよう支援します。



◎市民プールの 再建(ただし修理が可能なら)

今ある市民プールを再利用できるのかかを専門家に依頼し、再利用できるのなら一部改装し、**市民プールを復活させます**。運営は民間に委託し経費削減を図ります。再利用できなければ建設を検討します。

